

2019年度 厚生労働科学研究費補助金（三次公募）課題（案）一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
がん政策研究事業	小児・AYA世代がん患者の妊孕性温存治療の生殖医療ネットワークを全国的に均てん化するための研究	<ul style="list-style-type: none"> 小児・AYA世代がん患者の妊孕性温存治療の現状を踏まえて全国的に均てん化するためのがん治療施設、生殖医療施設、凍結保存施設の生殖医療ネットワークの適切な体制等の提案。 小児・AYA世代がん患者の妊孕性温存治療の対象患者数、医療の質、運営等の現状を踏まえて、小児・AYA世代がん患者の妊孕性温存治療、凍結保存治療の全国的な均てん化を目指した安全な運営方法の提案。 	10,000～12,000	1～2	3
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	【再公募】 栄養素及び食品の適切な摂取のための行動変容につながる日本版栄養プロファイル策定に向けた基礎的研究	<ul style="list-style-type: none"> 諸外国における食品の栄養価のスコア化（栄養プロファイル）の策定の方法論（検討体制、検討期間等を含む。）、プロモーションの方法、食品関連事業者や学術団体等の協力的体制等を含めた活用方法等に関するレビューを行う。 栄養プロファイルに関する諸外国の状況及び我が国の食品の販売状況を踏まえ、日本版栄養プロファイルの策定に向けた課題整理と日本版栄養プロファイルの試案作成を行う。 	5,500	1	3
難治性疾患政策研究事業	難病ゲノム医療に対応した遺伝カウンセリングの実態調査と教育システムの構築に関する研究	難病領域における遺伝カウンセリングの実態を把握する。 また、難病領域の遺伝カウンセリング体制の構築・整備のための具体的な方策を提示する。	5,000～7,500	1	3
	難病ゲノム医療の推進に資する国内外の基礎研究、臨床研究および実臨床におけるゲノム利用に関する実態調査研究	難病領域に限らず、国内外の基礎研究、臨床研究、実臨床におけるゲノムに利用関する実態を把握する。特に全ゲノム解析の活用およびデータ収集についても実態を把握する。さらに、難病領域におけるゲノム医療を推進するための課題と研究として実施すべき具体的な方向性等を提言する。	5,000～7,500	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	ヘリコバクター・ピロリの薬剤耐性の対策に資する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコバクター・ピロリの薬剤耐性に関して、追跡調査等による実態把握 ・ヘリコバクター・ピロリの薬剤耐性に関して、継続的なモニタリングの必要性の検討 	5,000	1	3
	わが国の狂犬病予防体制の推進のための研究	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的知見に基づく、現在の日本における狂犬病のリスクの評価。 ・現行の狂犬病予防に係る規制を分析・評価し、課題の整理を行う。 ・上記結果をもとに明らかになった課題について、狂犬病予防業務に関わる専門官等関係者を含め検討する。 	4,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
労働安全衛生総合研究研究事業	<p>【再公募】</p> 自動走行可能な自律制御産業機械の安全基準策定のための研究	<ul style="list-style-type: none"> ・自動走行可能な自律制御産業機械の安全関連システムに対するリスクアセスメント手法及び要求安全度水準の決定方法の開発 ・要素技術の実証を含めた安全関連システムの社会実装前の実証試験の方法（プロトコル）の開発 ・開発されたプロトコルによる実証試験のトライアルの実施、及び安全関連システムの安全度水準の評価の試験の実施 ・トライアル結果を踏まえて改善されたリスクアセスメント手法及び実証試験プロトコルの提案 	15,000	1	3
	労働者に健康障害を生じさせるおそれのある化学物質の測定方法確立のための調査研究	捕集、脱着、分析等の各プロセスに困難が伴うため測定・分析手法が確立できていない6物質（2-イミダゾリジンチオン、ジチオリン酸0,0-ジエチル-S-(2-エチルチオエチル)、臭素、過酸化水素、テトラフルオロエチレン、ジエチレントリアミン）に係る作業環境測定及び個人サンプラーを用いた測定手法の確立	1,000～5,000	1～6	3